

第31回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム (JSR2018) プログラム

1. 開催日 2018年1月8日(月・祝), 9日(火), 10日(水)
2. 場所 つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2-20-3)
3. JSR2018のウェブサイトについて
ウェブサイトのURLは, 以下の通りです。
<http://www.jssrr.jp/jsr2018/>
4. 参加費(12月1日以降)会場受付でお支払いください。

放射光学会員	7,000円	学生	4,000円
共催団体(特別賛助団体)会員職員	8,000円	学生	4,000円
共催団体(上記以外)会員・職員	9,000円	学生	4,000円
非会員	13,000円	学生	5,000円
懇親会	7,000円	学生	4,000円

懇親会参加人数を早期に確定する必要があるため, 参加を希望される方は, 12月15日までに学会事務局(jsr2018@jssrr.jp)にご連絡ください。なお, 当日の受付は若干数になります。
5. 発表について
 - (1) 口頭発表について
 - ・一般口頭発表の時間は, 発表10分, 質疑応答5分の合計15分です。
 - (2) 液晶プロジェクターについて
 - ・発表は, 各自のノートパソコンで行ってください。
 - ・液晶プロジェクターとノートパソコンはミニD-sub15ピンコネクタ(ピンが5本×3段の通常のもの)で接続します(ケーブルは主催者側で用意)。
 - ・上記液晶プロジェクターとの接続にアダプタが必要な場合は各自で持参ください。
 - ・接続やパソコンの立ち上げは講演者ご自身が行ってください。(機器や操作のトラブルによる遅れは発表時間に含めます。)

重要: セッション開始前や休み時間を利用して事前に動作をチェックし, 本番でタイムロスがないようにしてください。
 - (3) ポスター発表について
 - 【ポスターボード】施設報告を含む全てのポスターについて, 発表1件あたり縦長A0サイズ(縦1189mm×横841mm)以内となります。貼付用品は会場に準備します。
 - 【掲示について】9日, 10日ともにポスターは発表日の9:00から掲示できます。撤去は, 9日は17:30までに, 10日は15:30までに完了してください。
 - (4) 施設報告
 - 施設報告のポスターは, 9日9:00~10日15:30の間, 常時掲示できます。撤去は, 10日15:30までに完了してください。
6. 学生発表賞
学生が第一著者かつ発表者の発表を対象として, 優れた口頭発表・ポスター発表には, 「学生発表賞」を贈呈します。この賞は学生発表賞選考委員会による選考で決定します。

7. 会場へのアクセス、会場周辺地図

(1) シンポジウム会場について

会場は「つくば国際会議場」です。(周辺地図参照)

(2) シンポジウム会場へのアクセスについて

●電車を利用する場合

つくばエクスプレス(快速) 秋葉原駅→つくば駅 45分

つくば駅より徒歩10分

JR 常磐線 土浦駅→つくばセンター(バス) 25分

つくばセンターより徒歩8分

JR 常磐線 ひたち野うしく駅→つくばセンター(バス) 35分

つくばセンターより徒歩8分

●高速バスを利用する場合

JR 東京駅(つくば号 八重洲南口発) →つくばセンター 約65分

つくばセンターより徒歩8分

茨城空港→つくばセンター 約60分

つくばセンターより徒歩8分

羽田空港→つくばセンター 約100分

つくばセンターより徒歩8分

成田空港(エアポートライナー NATT'S) →つくばセンター 約65分

つくばセンターより徒歩8分

●車を利用する場合

常磐自動車道 桜土浦 I.C. より約10分

常磐自動車道 谷田部 I.C. より約15分

圏央道 つくば中央 I.C. より約9分

駐車場情報：https://www.epochal.or.jp/access/map_shuhen.html

(3) 懇親会会場について

会場は、オークラフロンティアホテルつくばアネックス館 1F「昴」です。シンポジウム会場から懇親会会場へは徒歩(約800m/約8分)です。歩行者専用道路をご利用ください。

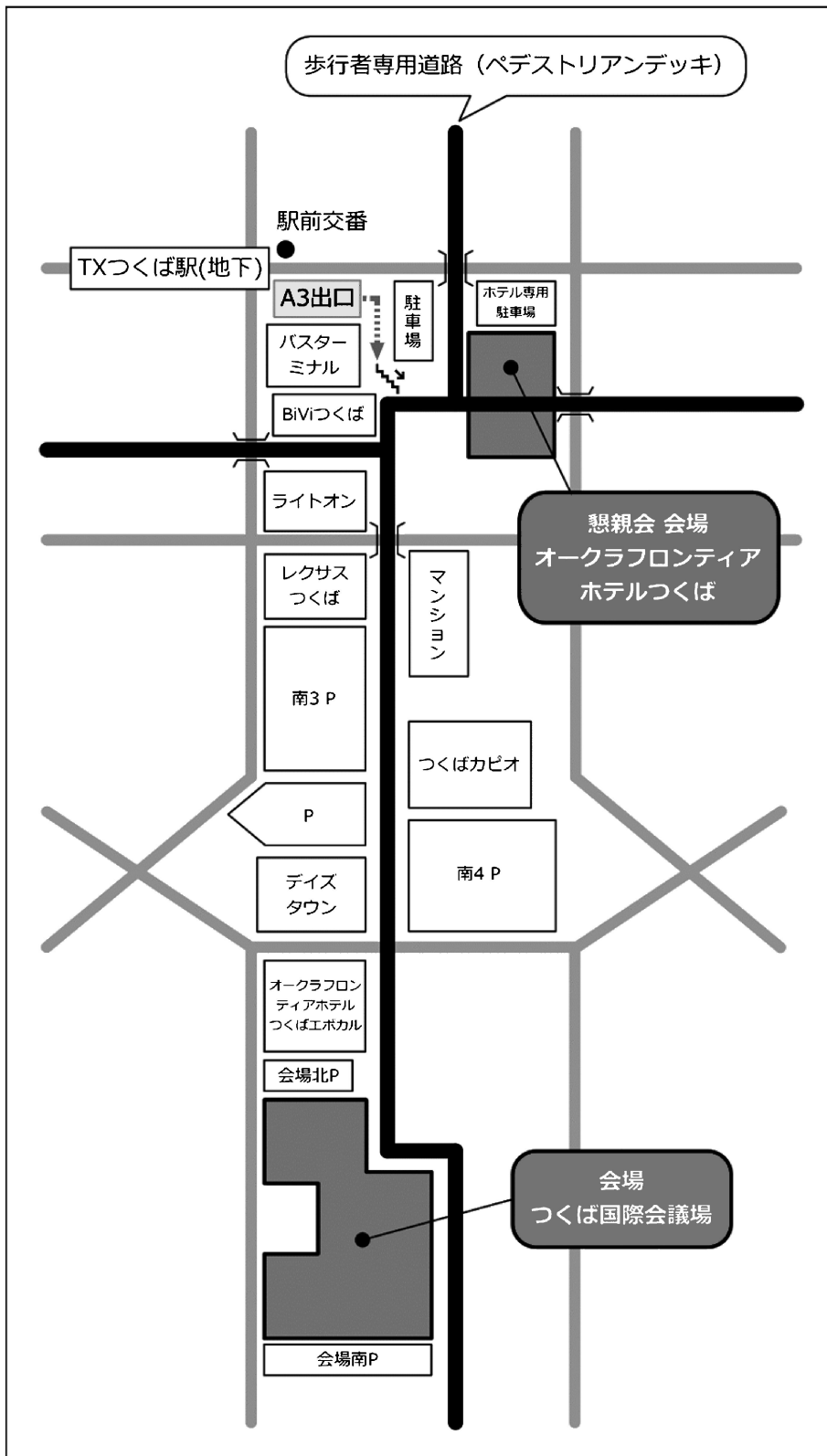
(4) 市民公開講座会場について

1月8日(月・祝) 13:30~16:30, つくば国際会議場にて、市民公開講座「放射光で輝く! 女性研究者」を開催します。※開場13:00

8. LAN 利用について

無線 LAN は講演会場、館内ロビーで利用可能です。詳細は当日配布となるプログラム冊子をご確認下さい。

会場周辺地図



■ シンポジウムタイムテーブル

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
8日 (月・祝)	会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	1階エントランスホール					受付(8:00~17:30)									
	S会場 (中ホール300)		9:00~12:00 企業講演 3 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~11:00 企業講演 2 VUV領域の空間および時間 コヒーレンス光源とそれを催ったサイエンス イメーシング	9:00~11:00 企業講演 3 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~12:10 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~11:00 企業講演 2 VUV領域の空間および時間 コヒーレンス光源とそれを催ったサイエンス イメーシング	9:00~11:00 企業講演 3 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~12:10 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~11:00 企業講演 2 VUV領域の空間および時間 コヒーレンス光源とそれを催ったサイエンス イメーシング	9:00~11:00 企業講演 3 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~12:10 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~11:00 企業講演 2 VUV領域の空間および時間 コヒーレンス光源とそれを催ったサイエンス イメーシング	9:00~11:00 企業講演 3 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展	9:00~12:10 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展 放射光科学の発展
	M会場 (大ホール1階)		8:00~												
	A会場 (中ホール200)														
	B会場 (中会議室202)														
	C会場 (中会議室406)														
	D会場 (中会議室405)														
	中会議室201														
	8日 (月・祝)														
	1階エントランスホール						受付(8:00~17:30)								
	M会場 (大ホール1階)														
	S会場 (中ホール300)														
A会場 (中ホール200)															
B会場 (中会議室202)															
C会場 (中会議室406)															
D会場 (中会議室405)															
中会議室201															
9日 (火)															
1階エントランスホール															
M会場 (大ホール1階)															
S会場 (中ホール300)															
A会場 (中ホール200)															
B会場 (中会議室202)															
C会場 (中会議室406)															
D会場 (中会議室405)															
中会議室404															
展示会場 (多目的ホール/ 大会議室101+102)															
9日 (火)															
1階エントランスホール															
M会場 (大ホール1階)															
S会場 (中ホール300)															
A会場 (中ホール200)															
B会場 (中会議室202)															
C会場 (中会議室406)															
D会場 (中会議室405)															
中会議室404															
展示会場 (多目的ホール/ 大会議室101+102)															
10日 (水)															
1階エントランスホール															
M会場 (中ホール300)															
A会場 (中ホール200)															
B会場 (中会議室202)															
C会場 (中会議室406)															
D会場 (中会議室405)															
中会議室404															
展示会場 (多目的ホール/ 大会議室101+102)															

■30周年記念特別講演

1月8日(月・祝) 13:30-14:30 (M会場)

1. 「Photon Science with X-Ray Free Electron Lasers」
Jerome Hastings (Professor of Photon Science, Linac Coherent Light Source, SLAC National Accelerator Laboratory) 60分

■放射光科学賞受賞講演

1月8日(月・祝) 15:40-16:30 (M会場)

- 「放射光挿入光源開発による放射光科学への貢献」
北村英男 (NEOMAX エンジニアリング株式会社) 50分

■学会奨励賞受賞講演

1月8日(月・祝) 16:30-17:00 (M会場)

1. 「固体表面の低次元電子状態における特異な電子相関現象」
大坪嘉之(大阪大学大学院 生命機能研究科/理学研究科) 30分

1月8日(月・祝) 17:00-17:30 (M会場)

2. 「Operando イメージング XAFS 法の開発と実固体触媒材料の可視化」
松井公佑 (名古屋大学大学院 理学研究科) 30分

■30周年特別企画講演「日本放射光学会三十而立」

1月9日(火) 14:50-17:50 (M会場)

1988年設立の日本放射光学会は、2018年で「三十而立の年」を迎える。多くの国内・国際学会の中で、学会員1300人規模の本学会が今後10年、そしてさらにその先にもどのような役割を果たすべきかについて改めて考えるシンポジウムとして、本講演を企画する。

1. 「趣旨説明」 小杉信博 (分子研・放射光学会長) 10分
2. 「基盤施設・計測技術・フォトンサイエンスの将来像」
矢橋牧名 (理研) 20分
3. 「物質科学における放射光利用の将来像」
有馬孝尚 (東京大学) 20分
4. 「生命科学と物質科学をつなぐ放射光利用」
原田慈久 (東京大学) 20分
5. 「生命科学における放射光利用の将来像」
千田俊哉 (KEK) 20分
6. 「産業界から見た放射光利用の将来像」
岸本浩通 (住友ゴム工業㈱) 20分

7. 「複合的な量子ビーム利用の将来像と海外からの視点」
篠原佑也 (テネシー大学/Oak Ridge National Lab.) 20分
休憩 10分
8. 「パネルディスカッション まとめ」 40分

■招待講演

※各オーラルセッション内で行います。

オーラル 2A イメージング

1月8日(月・祝) 11:40-12:10 (A会場)

- 「ダイヤモンドアンビル装置を用いた高圧その場 X 線ラミノグラフィ法の開発と高圧地球科学への応用」
野村龍一(愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター) 30分

オーラル 1D 赤外・テラヘルツ光

1月8日(月・祝) 10:00-10:30 (D会場)

- 「赤外光を使ってガーネットシンチレータ結晶中に潜む電子捕獲中心を見る」 北浦守 (山形大学理学部) 30分

オーラル 2D VSX (原子分子)

1月8日(月・祝) 10:40-11:10 (D会場)

- 「強レーザー場による原子の超高速多光子操作」
伏谷瑞穂 (名古屋大学大学院理学研究科) 30分

オーラル 3C 生物

1月9日(火) 10:30-11:00 (C会場)

- 「膜蛋白質の構造決定を加速化する技術の動向
～XFEL を用いた実験的位相決定法～」
溝端栄一 (大阪大学大学院工学研究科) 30分

オーラル 3D X (XAFS)

1月9日(火) 9:00-9:30 (D会場)

- 「エレクトライド触媒によるアンモニア合成における金属-担体相互作用」
北野政明 (東京工業大学元素戦略研究センター) 30分

オーラル 5A VSX (回折・散乱)

1月10日(水) 11:40-12:10 (A会場)

- 「強誘電体の短配位～中距離レンジ構造の解明」
米田安宏 (日本原子力研究開発機構) 30分

オーラル 4B VSX (固体)

1月10日(水) 10:00-10:30 (B会場)

- 「光電子線二色性による強相関軌道対称性の研究：もう一つの角度分解光電子分光」
関山明 (大阪大学大学院基礎工学研究科) 30分

オーラル 5B VSX (表面)

1月10日(水) 10:40-11:10 (B会場)

「Exploration of novel two-dimensional materials」

Baojie Feng (広島大学放射光科学研究センター) 30分

オーラル 4C 加速器・光源

1月10日(水) 9:30-10:00 (C会場)

「X線自由電子レーザー SACLA と世界の動向」

渡川和晃 (理化学研究所放射光科学総合研究センター)

30分

■企画講演

企画講演 1

『情報科学を活用した放射光科学の新展開』

1月8日(月・祝) 9:00-12:00 (S会場)

情報科学の発展はめざましく、放射光との連携融合により新しい分野形成が期待されている。本企画講演では、機械学習を用いた実際の研究例を講演すると共に、基礎物理から産業界まで様々な視点から話題提供を行う。講演を通じて、先端計測と物質機能と情報空間がどのように接続していくか、を俯瞰的に捉えることを目的とする。さらにはパネルディスカッションを設け、機械学習を活用した近未来の研究者像について意見交換を行い、放射光科学の更なる発展に繋げる。

司会 小嗣真人 (東理大)

1. 「趣旨説明」 小嗣真人 (東理大) 5分

2. 「マテリアルズ・インフォマティクスの2, 3の話題」
寺倉清之 (NIMS MI2I) 30分

3. 「スペクトラムイメージ解析のための統計的機械学習法」
志賀元紀 (岐阜大学/さきがけ) 30分

4. 「量子ビーム実験・構造モデリング・トポロジカル解析を用いた非晶質物質の構造の系統的な理解」
小原真司 (NIMS/さきがけ) 30分

5. 「機械学習を使ったトポロジカル物質表面・エッジの研究」
大槻東己 (上智大) 30分

6. 「磁石研究への量子ビーム利用における計測・解析の現状と課題」
矢野正雄 (トヨタ自動車) 30分

7. 「パネルディスカッション」
司会: 永村直佳 (NIMS/さきがけ) 25分

企画講演 2

『VUV領域の空間および時間コヒーレンス光源とそれを使ったサイエンス』

1月9日(火) 9:00-11:00 (S会場)

最近、エミッタンスが1 nmrad以下の超高輝度光源が稼働し始め、硬X線・軟X線領域では、これまで以上に空間コヒーレンスを狙った研究が可能になってきている。一方でVUV領域では、1 nmradのエミッタンスで回折限界に達するため、既存の加速器技術で完全空間コヒーレンスを持った光が得られる。また、最近のレーザー高次高調波技術の発展に伴い、時間コヒーレンスの高いVUV光が得られるようになってきた。本企画講演では、これら空間・時間コヒーレンスを使った新しいVUVサイエンスを議論する。

司会 木村真一 (阪大生命機能)

1. 「趣旨説明」 木村真一 (阪大生命機能) 10分

2. 「空間コヒーレンスを狙った1 GeV-1 nmrad光源」
加藤政博 (UVSOR) 20分

3. 「時間コヒーレントなレーザー VUV光源の発生と応用」
伏谷瑞穂 (名大理) 20分

4. 「VUV光渦を用いた原子分子研究の現状と展望」
金安達夫 (佐賀シンクロ) 20分

5. 「アト秒パルス光源を用いた半導体電子系のペタヘルツ光動作」
増子拓紀 (NTT 物性科学基礎研) 20分

6. 「顕微 ARPES の現状と展望」
岩澤英明 (Diamond Light Source) 20分

7. 「総合討論」 木村真一 (阪大生命機能) 10分

企画講演 3

『生命機能に迫る相関構造解析の最前線』

共催: 日本顕微鏡学会

後援: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

1月10日(水) 9:00-12:00 (S会場)

生命機能の理解に向けて、放射光による膜タンパク質を初めとした高難度サンプルの結晶構造解析、フェムト秒XFELによる状態遷移を直接捉える時分割構造解析などX線による生体高分子の構造解析に加え、近年ではクライオ電子顕微鏡による複合体やマルチコンフォマーの単粒子解析、さらには計算機科学と組み合わせて構造ダイナミクスに迫る相関構造解析が進められている。本企画ではこれら最先端の生体高分子の構造機能解析の特徴を紹介して

その相補利用によりどこまで生命機能に迫れるのかを議論する。

司会 山本雅貴 (理研)・岩崎憲治 (阪大)

1. 「生命機能に迫る相関構造解析における結晶構造解析」
山本雅貴 (理研) 20分
2. 「相関構造解析における X 線小角散乱」
清水伸隆 (KEK) 20分
3. 「低温電子顕微鏡による生体高分子複合体の構造解析」
光岡薫 (阪大) 25分
休憩 10分
4. 「自由電子レーザーによる膜タンパク質の構造の分子
動画撮影」
岩田想 (京大) 25分
5. 「X 線小角散乱実験と分子動力学計算の相関構造解析」
池口満徳 (横浜市大) 25分
6. 「クロマチンの高次構造とダイナミクスの相関構造解
析」
胡桃坂仁志 (早稲田大) 25分
7. 「総合討論：新世代構造生物学基盤としての放射光・
電顕連携」
岩崎憲治 (阪大) 30分

企画講演 4

『放射光における検出器開発』

1月10日 (水) 15:30-17:30 (S会場)

放射光実験での検出器の重要性は増大している。そこで検出器開発の現状を議論するため、まず課題の整理を行う。さらに具体例として、画像検出器について到達点と開発の将来展望を議論する。すべての検出器を放射光コミュニティ単独で開発することは不可能である。そこで、素核宇宙、工学分野との連携事例や産業界での開発について議論し、他分野との連携のあり方を考える。

司会 岸本俊二 (KEK)

1. 「趣旨説明と課題の整理」 初井宇記 (理研) 10分
2. 「次世代硬 X 線画像検出器の開発」
初井宇記 (理研) 20分
3. 「SOI X 線ピクセル検出器開発プロジェクトの現状」
新井康夫 (KEK) 25分

4. 「超伝導トンネル接合を用いたエネルギー分散型 X 線
検出器アレイの開発」 志岐成友 (産総研) 25分
5. 「計測分析機器産業から見た検出器技術の動向と社会
実装の方向性」 岡田明彦 (NEDO) 30分
6. 「まとめ」 岸本俊二 (KEK) 10分

■施設報告

1月9日 (火) ~1月10日 (水)

つくば国際会議場 (大会議室101+102前ロビー)

高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設、大阪大学蛋白質研究所、科学技術交流財団あいちシンクロトロン光センター、九州大学シンクロトロン光利用研究センター、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター、佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター、産業技術総合研究所分析計測標準研究部門、自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設、東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設、東京大学放射光分野融合国際卓越拠点、東京理科大学総合研究院赤外自由電子レーザー研究センター、東北大学東北放射光施設推進会議、名古屋大学シンクロトロン光研究センター、日本原子力研究開発機構、日本大学電子線利用研究施設、光科学イノベーションセンター、兵庫県立大学 New SUBARU、広島大学放射光科学研究センター、理化学研究所放射光科学総合研究センター、立命館大学 SR センター、量子科学技術研究開発機構、日本放射光学会若手部会

■各施設利用者懇談会

SLiT-J ユーザーコミュニティ総会

1月8日 (月・祝) 17:40~18:40 (A会場)

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC 評議委員会)

1月9日 (火) 10:00~11:00 (小会議室 404)

VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会

1月9日 (火) 11:10~12:10 (C会場)

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC 総会)

1月9日 (火) 12:10~13:10 (S会場)

PF-ユーザアソシエーション (PF-UA 幹事・運営委員会)

1月10日 (水) 11:10~12:10 (小会議室404)

PF-ユーザアソシエーション (PF-UA の集い)

1月10日 (水) 12:20~13:20 (A会場)

詳細なプログラム等、本シンポジウムに関する詳しい内容は本シンポジウムのホームページをご覧ください。

<http://www.jsrr.jp/jsr2018/>

第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム 企業展示会出展社一覧 (2017年11月9日現在)

- ㈱アールアンドケー
㈱アールデック
㈱アイリン真空
アステック㈱
㈱アド・サイエンス
㈱アドバネット
アネスト岩田㈱
㈱アルバック
EMF ジャパン㈱
(一社)茨城研究開発型企業交流協会/㈱ビームトロン/
㈱真空デバイス/(有)清和製作所/高千穂精機㈱筑波営業所
イノベーションサイエンス㈱
茨城県中性子ビームライン
入江工研㈱
ImPACT (革新的研究開発推進プログラム) 伊藤プログラム
ImPACT (革新的研究開発推進プログラム) 佐野プログラム
エドワーズ㈱
㈱エスエフ回路設計ブロック
NTT アドバンステクノロジー㈱
MB Scientific AB
応用光研工業㈱
㈱オオツカ
カールスルーエ技術研究 (KIT)・IMT/㈱ASICON
檜山工業㈱
金属技研㈱
クリアパルス㈱
神津精機㈱
コスモ・テック㈱
㈱サーモ理工
サエス・ゲッターズ・エス・ピー・エー
㈱ジェイテックコーポレーション
シエンタ オミクロン㈱
㈱島津製作所
シャラン インスツルメンツ㈱
真空光学㈱
㈱鈴木商館
セイコー・イージーアンドジー㈱/CAENels
/QuantumDetectors
㈱大和テクノシステムズ
タレスジャパン㈱
中央電子㈱
ツジ電子㈱
- ㈱ティ・ディ・シー
テガサイエンス㈱
㈱テクノエーピー
テクノハンズ㈱
㈱テクノポート
㈱東京インスツルメンツ
東芝 エネルギーシステムズ㈱
東芝電子管デバイス㈱
㈱トヤマ
仁木工芸㈱/Advanced Design Consulting USA, Inc.
仁木工芸㈱/Huber Diffractionstechnik GmbH & Co. KG
仁木工芸㈱/RaySpec Ltd.
ニチコン㈱
㈱日本アクシス
日本ナショナルインスツルメンツ㈱
NEOMAX エンジニアリング㈱
伯東㈱
㈱パスカル
浜松ホトニクス㈱
日立造船㈱
㈱VIC インターナショナル
㈱フィジックステクノロジー
フォトテクニカ㈱
㈱フォトロン
㈱フジキン
ペンギンシステム㈱
㈱マイクロサポート
㈱ミラプロ
ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ㈱
㈱ムサシノエンジニアリング
明昌機工㈱
㈱メレック
ユニオン光学㈱
㈱ライトストーン
ラドデバイス㈱
㈱ラボラトリ・イクイップメント・コーポレーション
㈱リガク
㈱理学相原精機
林栄精器㈱
ロックゲート㈱
(有)ワイテック

第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム 広告掲載社一覧 (2017年11月9日現在)

(一社)茨城研究開発型企業交流協会/㈱ビームトロン/
㈱真空デバイス/(有)清和製作所/高千穂精機㈱筑波営業所
応用光研工業㈱
㈱オプトサイエンス
㈱サーモ理工
㈱ジェイテックコーポレーション
真空光学㈱
㈱鈴木商館
ソーラボジャパン㈱
㈱大和テクノシステムズ
ツジ電子㈱

㈱テクノエーピー
㈱東京インスツルメンツ
仁木工芸㈱
㈱日本アクシス
日本高周波㈱
㈱VIC インターナショナル
㈱フジキン
㈱ムサシノエンジニアリング
ラドデバイス㈱
㈱ラボラトリ・イクイップメント・コーポレーション

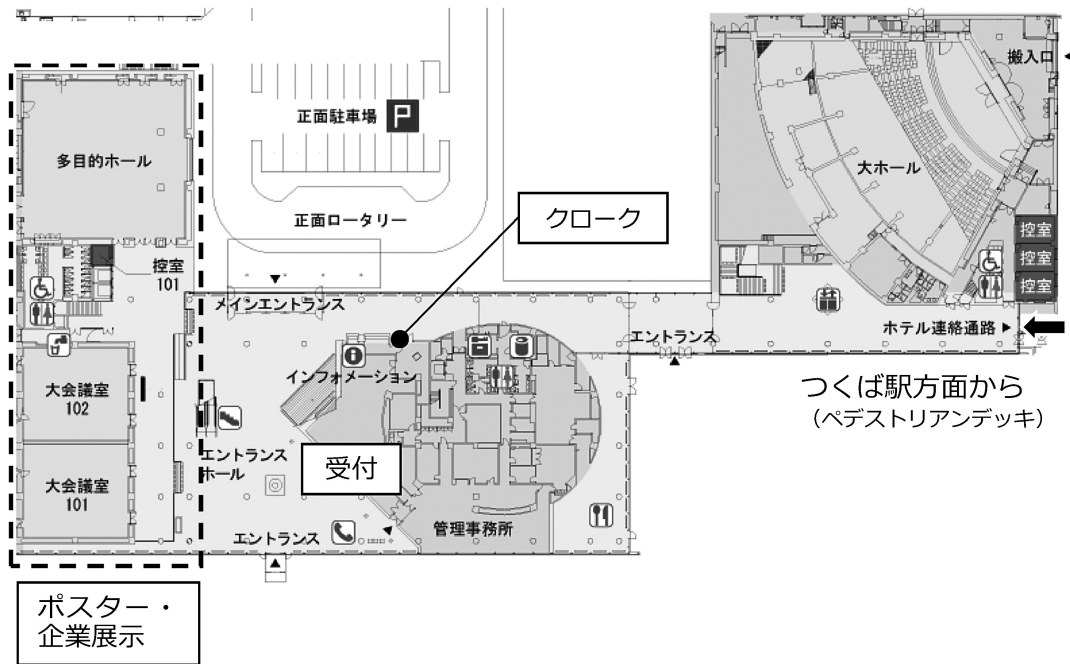
第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム ランチョンセミナー開催社一覧 (2017年11月9日現在)

(一社)茨城研究開発型企業交流協会/㈱ビームトロン/
㈱真空デバイス/(有)清和製作所/高千穂精機㈱筑波営業所

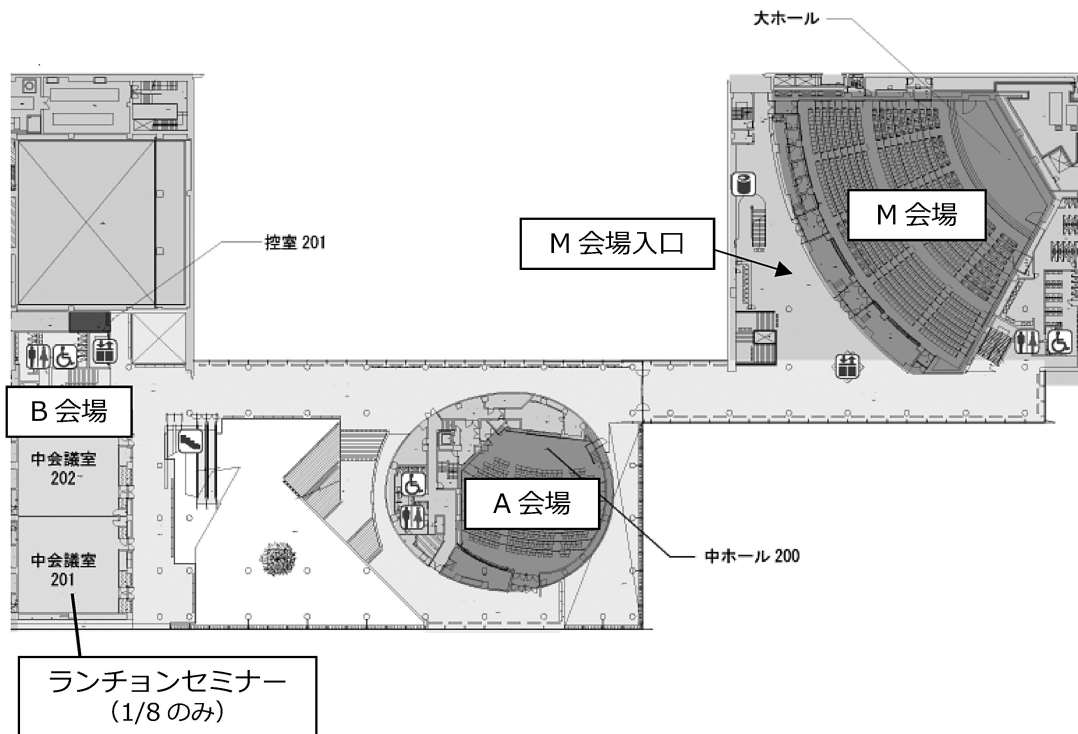
日本ナショナルインスツルメンツ㈱
㈱リガク

会場案内図

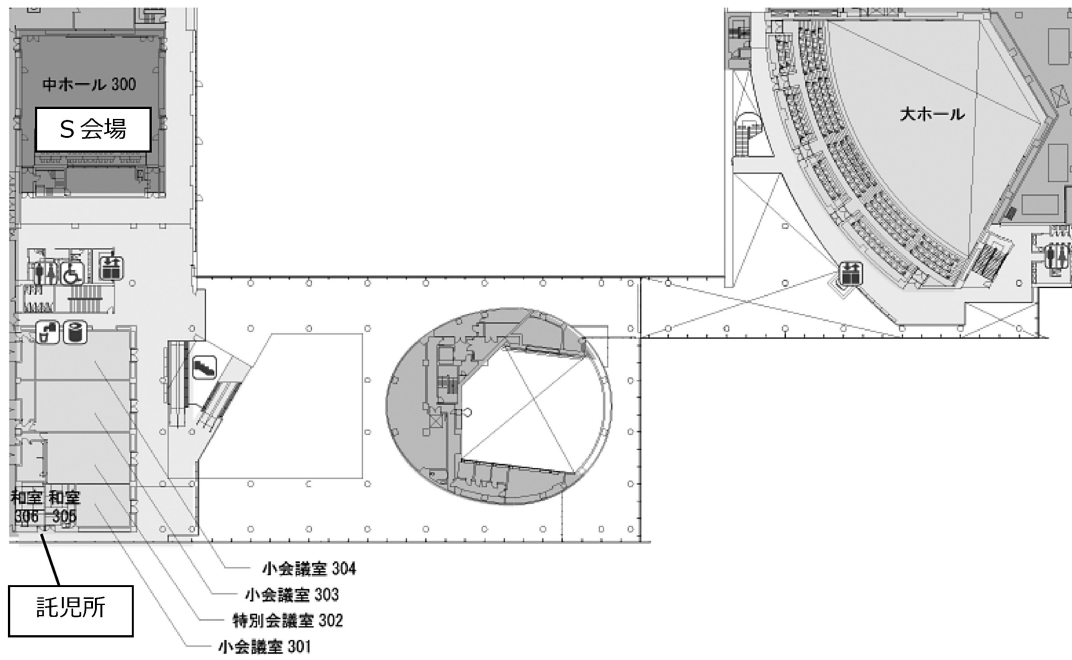
つくば国際会議場 1階



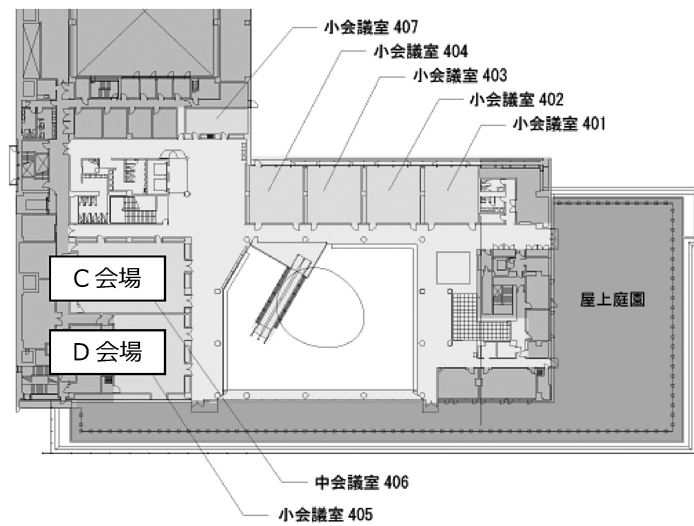
つくば国際会議場 2階



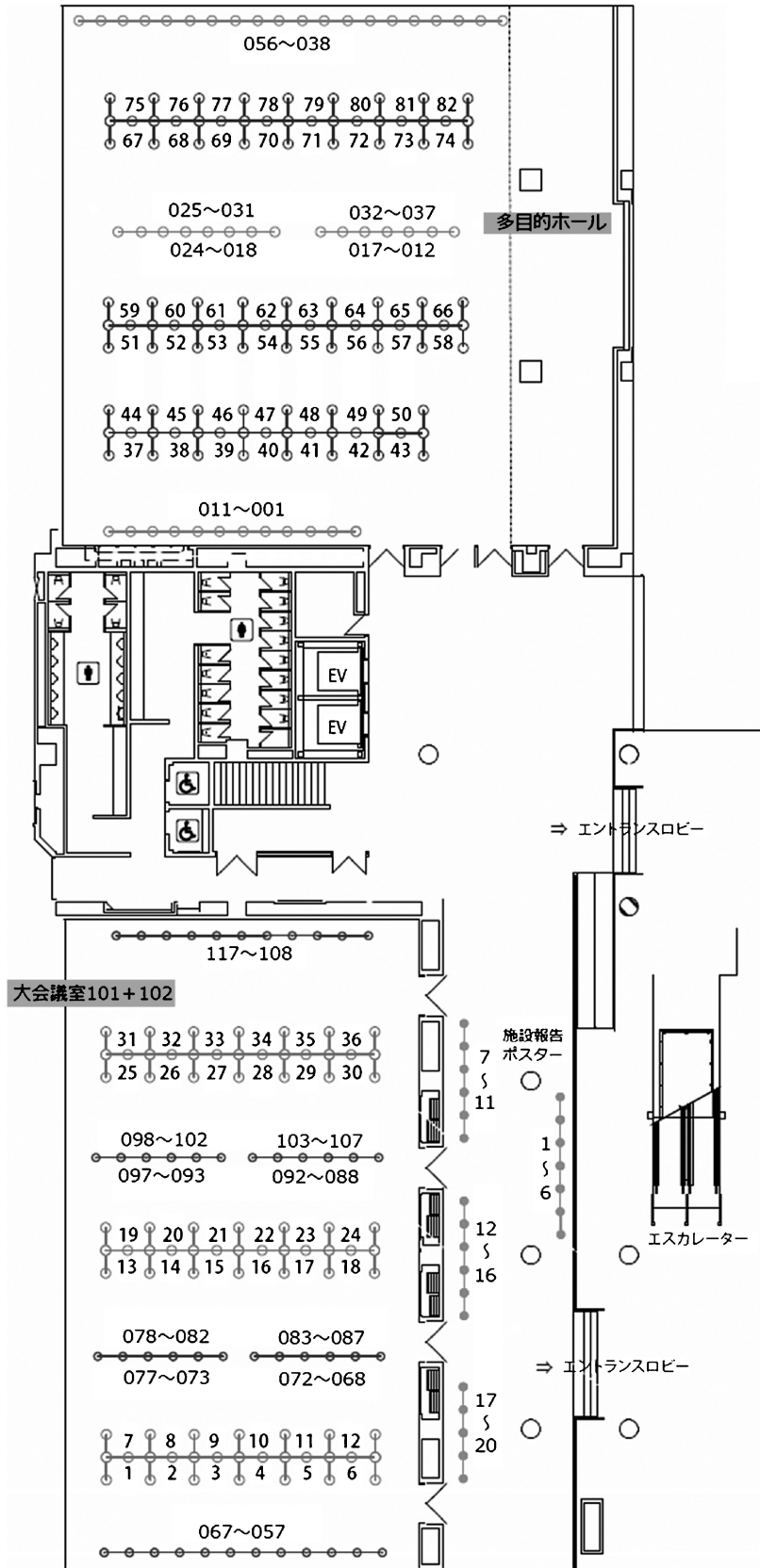
つくば国際会議場 3階



つくば国際会議場 4階



展示会場（ポスター・企業展示）配置図



主催 第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム組織委員会

共催 日本放射光学会（主幹），高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設，大阪大学蛋白質研究所，科学技術交流財団あいちシンクロトロン光センター，九州大学シンクロトロン光利用研究センター，高輝度光科学研究センター，佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター，佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター，産業技術総合研究所分析計測標準研究部門，自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設，SPring-8 ユーザー協同体（SPRUC），SLiT-J ユーザーコミュニティ，東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設，東京大学放射光分野融合国際卓越拠点，東京理科大学総合研究院赤外自由電子レーザー研究センター，東北大学東北放射光施設推進会議，名古屋大学シンクロトロン光研究センター，日本原子力研究開発機構，日本大学電子線利用研究施設，光科学イノベーションセンター，兵庫県立大学 New SUBARU，広島大学放射光科学研究センター，PF-ユーザアソシエーション（PF-UA），VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会，UVSOR 利用者懇談会，理化学研究所放射光科学総合研究センター，立命館大学 SR センター，量子科学技術研究開発機構

各種委員会

組織委員会（[] は推薦団体，（ ） は所属機関（推薦団体と同一の場合省略）◎は委員長，○は副委員長）

足立伸一 [プログラム委員長 (KEK-PF)]，虻川匡司 [東北放射光施設]，雨宮健太 [KEK-PF，年会会計幹事 (KEK-PF)]，石井賢司 [量研機構]，稲田康宏 [立命館大SR，放射光学会会計幹事]，宇留賀朋哉 [JASRI]，江島丈雄 [SLiT-J]，小田島肇 [SLiT-J]，郭其新 [佐賀大]，川瀬啓悟 [HiSOR]，木村昭夫 [VUV・SX 懇 (広島大)]，木村正雄 [プログラム副委員長 (KEK-PF)]，○組頭広志 [副組織委員長 (KEK-PF)]，解良聡 [分子研]，小杉信博 [放射光学会会長 (分子研)]，近藤猛 [東大物性研，東大放射光分野融合国際 (東大物性研)]，清水敏之 [PF-UA (東大)]，清水伸隆 [実行副委員長 (KEK-PF)]，妹尾与志木 [SAGA-LS]，曾田一雄 [名大]，竹田美和 [AichiSR]，築山光一 [東京理科大]，豊川弘之 [産総研]，新部正人 [兵庫県立大]，西堀麻衣子 [SPRUC (九大)]，高原淳 [九大]，初井宇記 [理研]，早川恭史 [日大]，福井一俊 [UVSOR 懇 (福井大)]，福田竜生 [原子力機構]，村上洋一 [実行委員長 (KEK-PF)]，◎矢代航 [組織委員長 (東北大)]，山下栄樹 [阪大蛋白研]

プログラム委員会（○は委員長）

朝倉大輔 [産総研]，足立純一 [KEK-PF]，○足立伸一 [プログラム委員長 (KEK-PF)]，雨宮健太 [年会会計幹事 (KEK-PF)]，伊藤孝寛 [名大]，上杉健太朗 [JASRI]，大和田謙二 [量研機構]，奥田太一 [広島大]，片山哲夫 [JASRI]，片山真祥 [立命館大]，木村正雄 [プログラム副委員長 (KEK-PF)]，熊井玲児 [KEK-PF]，組頭広志 [副組織委員長 (KEK-PF)]，佐藤真直 [JASRI]，清水伸隆 [実行副委員長 (KEK-PF)]，鈴木基寛 [JASRI]，関口博史 [JASRI]，全炳俊 [京大]，仙波泰徳 [JASRI]，高嶋圭史 [名大]，田中秀明 [阪大]，田中義人 [兵庫県立大]，原徹 [理研]，原田慈久 [東大]，彦坂泰正 [富山大]，村上洋一 [実行委員長 (KEK-PF)]，森脇太郎 [JASRI]，矢代航 [組織委員長 (東北大)]，山本達 [東大物性研]，和達大樹 [東大物性研]，渡部貴宏 [JASRI]

実行委員会（○は委員長）

足立伸一 [プログラム委員長 (KEK-PF)]，雨宮健太 [年会会計幹事 (KEK-PF)]，五十嵐教之 [KEK-PF]，石井晴乃 [KEK-PF]，宇佐美徳子 [KEK-PF]，木村正雄 [プログラム副委員長 (KEK-PF)]，小針美由紀 [KEK-PF]，小山篤 [KEK-PF]，酒巻真粧子 [KEK-PF]，佐賀山基 [KEK-PF]，島田美帆 [KEK-PF]，清水伸隆 [実行副委員長 (KEK-PF)]，仁谷浩明 [KEK-PF]，高橋良美 [KEK-PF]，中尾裕則 [KEK-PF]，西堀英治 [筑波大]，丹羽尉博 [KEK-PF]，引田理英 [KEK-PF]，堀場弘司 [KEK-PF]，間瀬一彦 [KEK-PF]，○村上洋一 [実行委員長 (KEK-PF)]，守友浩 [筑波大]，矢代航 [組織委員長 (東北大)]